

漁海況情報

2011年(平成23年)7月 第464号

最新情報提供：沖縄県水産海洋研究センターURL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

沖縄県水産海洋研究センター

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号

電話 098-994-3593・3597

FAX 098-995-2357

携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)↑

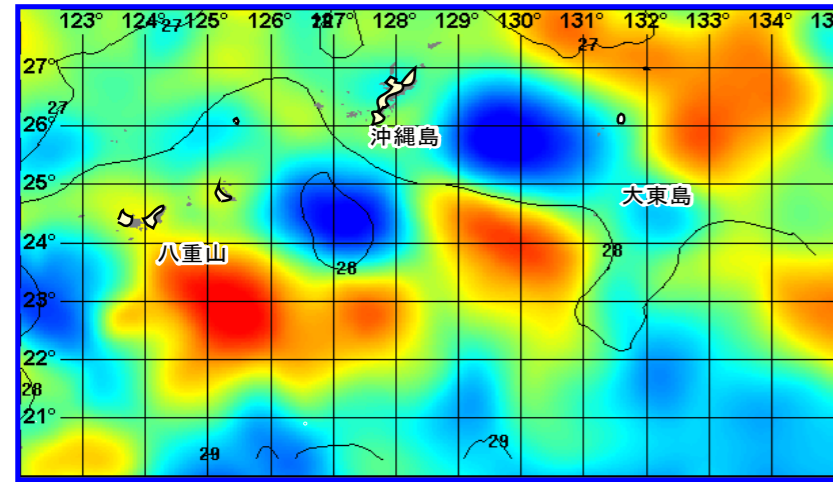


図1. 表面水温分布図(2011年10月1日) 資料：東シナ海海況速報(漁業情報サービスセンター) 海面高(cm)

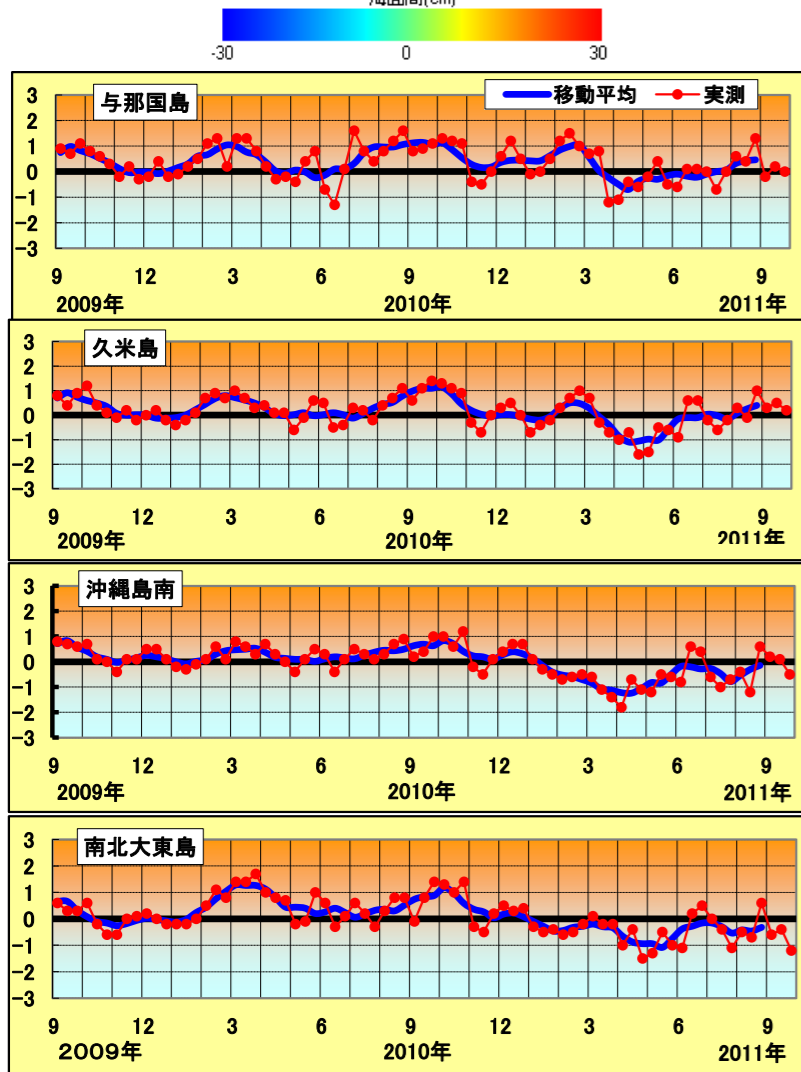


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

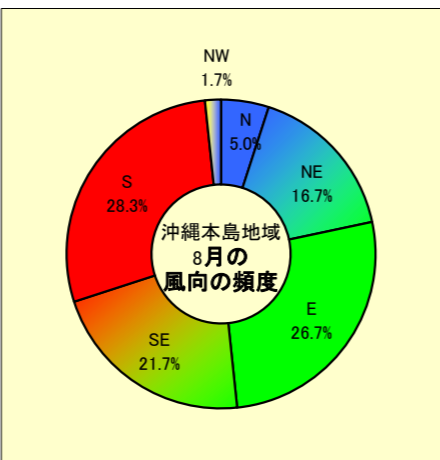
水温：9月前半の水温は、概ね平年並み(±0.5℃程度)であったが、大東諸島海域および尖閣諸島海域ではやや低めで推移した。10月の水温は概ね平年並み(±0.5℃程度)からやや低め(-0.5℃程度)で推移する見込み。

潮流：沖縄島と大東諸島の間および宝山・大九曾根の東の海域には低気圧性(反時計回り)の、一方、石垣島の南東には高気圧性(時計回り)の中規模渦が発生している模様。

参考資料

- 海水温・海流1ヶ月予報：9月30日気象庁地球環境・海洋部発表
- 西日本海区别海況情報：10月3日発表長崎海洋气象台
- 沖縄県地方1か月予報：9月30日沖縄気象台発表

9月の表面水温年偏差	
与那国	平年並み
久米島	平年並み
沖縄島南	やや低め
大東島	低め



漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、伊良部ではキハダ、シビ

表1 7月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.2	0.1	0.0	0.2	0.5	0.2	1.2
クロカジキ	2.1	0.2	1.8	0.1	4.2	0.0	11.6
沖サワラ	0.5	0.0	0.0	0.2	0.8	0.1	1.8
カツオ	0.4	0.2	0.1	0.5	1.2	13.4	19.7
キハダ	31.3	6.0	8.1	2.4	47.8	17.4	108.6
シビ	3.0	2.9	1.2	5.2	12.2	15.2	33.2
メバチ	1.8	0.0	0.2	1.5	3.5	0.0	7.2
計	39.3	9.4	11.4	10.1	70.3	46.3	183.2

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6～10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

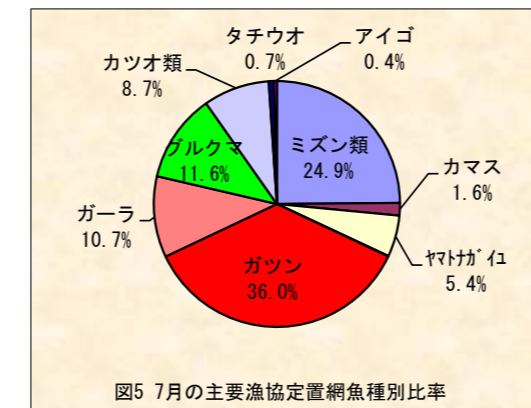
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	10.6	22.9	22.7	30.0	24.9	111.0
2008年	9.3	13.1	30.7	21.0	26.1	100.2
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	-	-	-	72.1

表3 6～10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	14.2	26.9	21.8	56.4	27.2	146.6
2008年	21.8	26.3	19.1	20.0	25.8	113.1
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	-	-	-	25.1

表4 6～10月のシイラ漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	9.6	0.9	2.2	8.8	6.1	27.6
2008年	1.2	0.4	1.8	3.1	7.4	13.8
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	-	-	-	13.4



定直網：7月の全体の漁獲状況は、12,661.6kgで先月(18,762.1kg)と比べて減少した。ガツンの漁獲が全体の36.0%、ミズンが24.9%を占めた(表3、図5)。



トビウオ(とうぶー)

糸満では、キハダ(10kg以上)が31.3t漁獲された。港川がキハダが6.0t、シビが2.9t、知念では、キハダが8.1t、クロカジキが1.8t、沖縄市ではシビが5.2t、キハダが2.4t、メバチが1.5t、伊良部ではキハダが17.4t、シビが15.2t、カツオ

沖縄本島南部海域における過去5年間の6～10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2～4に示した。

7月のキハダの漁獲量は47.8tで、6月(24.3t)に比べて23.5t漁獲量が増加、昨年の7月と比較すると11.4t上回った(表2、図3)。シビの漁獲量は6月(12.9t)と比べて0.7t減少した(表3)。

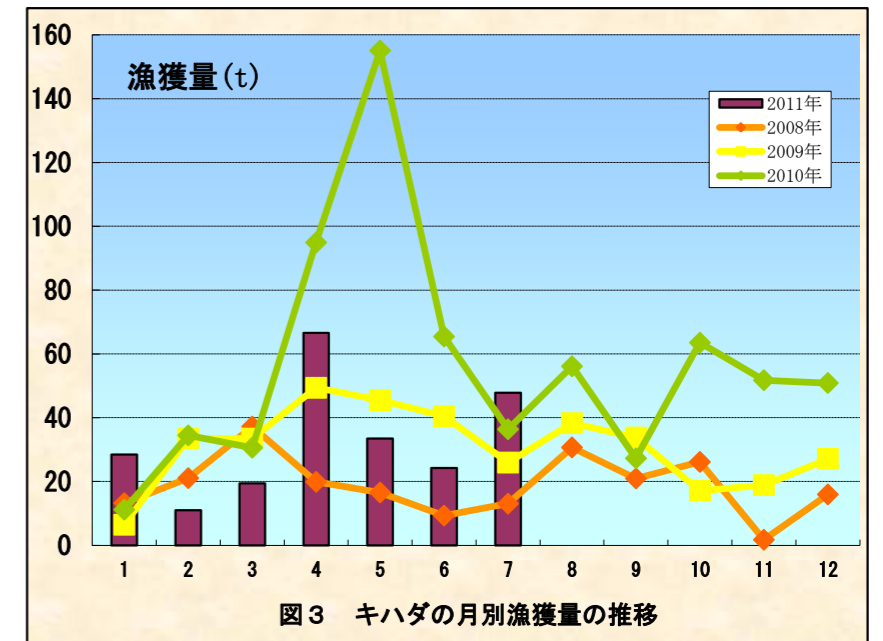


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表3 7月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	209.7	4.2	0.0		1,150.0	40.0	1,715.4		3,119.3
カマス	90.9	54.9	0.0		0.0	39.9	21.1		206.8
ヤマトガイ	2.1	114.5	9.2		5.5	316.1	234.9		682.3
ムロアジ	7.5	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0		7.5
ガツン	4,180.0	100.4	0.0		16.7	117.0	97.7		4,511.8
ガーラ	359.2	553.3	14.0		12.2	291.5	107.3		1,337.5
グルクマ	759.1	553.2	0.0		47.0	51.7	45.7		1,456.7
カツオ類	206.7	426.8	0.0		0.0	226.4	231.1		1,091.0
タチウオ	1.7	33.0	0.0		0.6	33.9	15.2		84.4
アイゴ	0.0	0.4	0.0		7.9	11.1	29.2		48.6
合計	5,816.9	1,840.7	23.2	0.0	1,239.9	1,127.6	2,497.6	0.0	12,545.9

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。